

## 文化部

川田 洋  
部会長



昨年に引き続き、文化部のお世話をさせていただきます。

先日、今年度最初の行事として一日ふれあい県外研修を行いました。増築された足立美術館で、横山大観等の名画鑑賞や、外国人評価15年連続日本一にかがやいた庭園を室内から一幅の絵画のように見る独特の楽しみに魅了された後、妻木挽田（むきばんだ）遺跡、向山古墳群、上淀摩寺等々を回りました。

今後は、11月に県内文化財一日研修、12月に寄せ植え教室、さらに桃源郷学習講座では鶴岡慧・大林浅吉・宮本義行先生に、香川の郷土史について講演していただく予定です。

また、本年は東信男先生に代わって埋蔵文化財センター前所長の真鍋昌宏先生に讃岐の古代史について講演していただきます。ご期待下さい。

## 総務部

原田 伸二  
部会長



本年度も、総務部を担当させていただくことになりました。

よろしくお願いいたします。

飯山北地区にお住まいの方が、コミュニティセンターを色々な学習活動や団体活動に気軽に使っていただけるような運営を行い、各部会が様々なイベントを企画して、楽しく参加が出来るような活動を心掛けています。

コミュニティ活動に、地域の方がたくさん参加して頂き、楽しく生活が出来るようにすることが大切と考えています。

地域がさらに住みよい町になるように、各部会の方や事務局の方と一緒に、充実したコミュニティ活動を実施して行きたいと思います。

## 体育部

杉林 利夫  
部会長



本年度も、体育部会を担当することとなりました。よろしくお願い申し上げます。

さて、3月10日の新聞に、介護を受けたり寝たきりにならず日常生活を送れる期間を示す「健康年齢」について、2016年調査結果が掲載されていました。香川県は全国平均を上回って、男性72.37歳（全国順位13位）女性は74.83歳（全国順位26位）となっていました。全国平均を上回った要因として「高齢者の生活習慣の改善や社会参加が増えている」のではないかと分析されていました。

北コミュニティとしても、皆さまの社会参加への環境作りに努め、健康に過ごせる地域づくりを目指しています。体育部会として、皆さまの社会参加のきっかけづくりの一つになればと、老いも若きも無理なく参加しやすく、興味をそられる行事に心がけ、運動の習慣化につながる行事を計画してまいります。具体的な計画は、改めてご案内します。

多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

## 生活環境部

井上 美智子  
部会長



生活環境部では、日常生活に密着した取り組みをしていきます。

活動内容は、次の通りです。

- ① 玉ねぎとホウ酸で作るゴキブリ団子。
- ② 廃油と苛性ソーダで作るEM廃油固形石鹸。
- ③ 自然浄化で環境に役立つ、米のとぎ汁EM発酵液づくりと活用体験。
- ④ 家庭菜園や花き栽培に好評のEMぼかし作り。
- ⑤ 地球温暖化防止の一步となる「緑のカーテン」の普及と栽培。
- ⑥ 自治会単位で取組む一斉清掃。
- ⑦ 土器川水辺の楽校周辺・大束川・飯野山登山道の清掃。
- ⑧ 研修視察等の実施。

コミュニティ菜園には、現在、空豆とじゃが芋を栽培しており、収穫時には、ピザを焼いて収穫祭をします。あと地には、毎年好評のさつま芋を栽培する予定です。

どなたでも参加・体験できますので、ご希望の方は、お気軽にお申し込みください。

## 青少年健全育成部

近石 清一郎  
部会長



住民から差し出されたおにぎりを、ドライバーが窓越しに受け取る。「名前は」と何人も尋ねたが住民たちは「なんも、いいってば」とかわし、長く延びた車列を縫って、おにぎりとお茶、漬物を配り歩いた。深夜からの記録的な大雪で夕方まで通行止めが続いた国道での出来事・・・。

道路近くに住む主婦らが、停車中のドライバーにおにぎりを配ったのは午前9時頃から。朝から国道の車が何時間も動かないことに気付いた一人が「腹のたしに」とおにぎりを握り外に出ると長い車列。お向かいさんにも声を掛けて米を炊き、おにぎりを配った。おにぎりがなくなると、自宅に戻りさらに近所の人に呼び掛けた。

その一週間後に町役場にお礼の電話があった。「自分たちも気持ちよかったんだから。男性が車から降りて、何度も頭を下げてくれたし・・・最初ににおにぎりを配った主婦は一緒に炊き出しをしてくれた人が近所にいたことがうれしい」と話した。この冬の豪雪の時の心温まる話です。

## 自主防災部

三谷 孝治  
部会長



本年度も、自主防災部の方をお世話することになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

災害はいつ起こるかわかりません。災害時には「自助」とよく言われますが、いざ災害発生の時、反射的防災行動を取れるよう、常時心がけておく必要が高まっております。

飯山北自主防災会においても、毎年地域防災訓練や子ども防災教室などを開催しておりますが、一人ひとりが災害時に適切な判断と行動を取れるよう、具体的な計画実践をさらに進めてまいります。ただ、訓練といいましても、目新しいものというより、危険回避のための基本行動の反復訓練が何より大事であり、自分の体に身に着けることだと思います。

今年も地域住民の皆さまがいざという時、落ち着いて行動がとれるよう訓練・啓発活動をしていきたいと思ひます。

どうぞよろしくお願いいたします。

## 保健福祉部

吉井 正人  
部会長



引き続き、保健福祉部会長を拝命いたしました。よろしくお願いいたします。

私たちの活動の多くは、ボランティアの皆さんによって支えられています。あたたかい優しい心で、自分の事よりも誰かが喜んでくれるなら、誰かの助けになるのならと自ら率先して、

活動して下さっています。

でも、ボランティア活動は「出来る時に、出来る人が、出来ることをする」ものです。皆さん決して無理はなさらないでください。

そのために仲間がいます。